政策研究センター　リサーチ・プロジェクト　成果報告書

提出日： 2020/3/19

申請者(リーダー)： 氏名　田中明彦　　職名　学長

リサーチ・プロジェクト名：

(和文)　SDGs指標のデータ可視化による 「GRIPS SDGsデータベース」 の構築

(英文)　Building “GRIPS SDGs Database” by data visualization of SDGs indicators

期間(yyyy/mm/dd)： 2019/11/1　から　2020/3/31　1年間

共同研究者:	氏名	職名	所属機関・部局名	(備考)
共同研究者1				
共同研究者2				
共同研究者3				
共同研究者4				
共同研究者5				

リサーチ・プロジェクトの目的

国際的に合意されているSDGsの232の指標のうち、妥当性が高く収集可能であるものについて、体系的・包括的に収集し、それらをわかりやすい形で可視化し、「SDGs関連資料集」と一体化し、全体を「GRIPS SDGs データベース」としてウェブサイト上で公開するころを目的とする。国連で合意された232の指標のうち、概念も明確であり指標作成の方法論も確立し、多くの国で実際にデータとして存在しているものは102である。本研究では、これらの指標を収集・検討し、わかりやすいコロプレス地図や各種のグラフのかたちで可視化する。

研究成果の概要(800字程度):

本研究は、現在GRIPSで公開している「SDGs関連資料集」とともに、「SDGs地図集」を作成し、「GRIPS SDGs データベース」を構築することを目的とするものである。現在の「SDGs関連資料集」は、もっぱら、SDGs成立以前から現在に至る国際的あるいは日本国内の重要関連文書を収集し公開しているものであるが、SDGsの指標などの数値データは取り込んでいない。そこで、本研究では17目標、169ターゲット、232指標のうち収集可能な数値データをできるかぎり包括的に収集し、地図やグラフの形で可視化し、研究・教育・実務に供することを目的とする。SDGsに関する基礎的文書と並び、世界各地の現状を示す可視化された世界地図上のデータを提供することによって、「GRIPS SDGs データベース」は、国内外のSDGs達成のための基礎資料となる。

この研究内容における作業は、①データ収集②データ加工③データの可視化④HPへの公開作業と、大きく4つに分けられる。

2019年11月～12月にかけ、IMFや世界銀行の最新データをダウンロードし「①のデータ収集」を行った。

2020年1月を中心におおまかな「②データ加工」をすすめ、2020年2月～3月に「③データ可視化」を重点的に行った。

Rのプログラミング作業をしつつ、コロプレス地図やグラフなどの完成したデータを確認しながら「②データ加工」の調整作業も行っている。3月末には、完成データを画像化し、HPデータベース「世界と日本」(http://worldjpn.grips.ac.jp)で公開されている「SDGs関連資料集」と一体化し、全体を「GRIPS SDGs データベース」としてウェブサイト上で公開する予定である。

研究成果:

別紙((成果報告書(研究成果一覧))に記入

その他、研究成果として特記すべき事項:

※政策研究センターのリサーチ・アシスタント(RA)雇用に採択されたプロジェクトについては、RAを雇用したことによって得られた研究成果(例:RA氏名が記載された①論文発表、学会発表など。予定も含む。)を必ず記載してください。

(全ての項目含め、1頁以内で記述してください。)

成果報告書(研究成果一覧)

研究成果一覧:
(発表予定を含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。別紙一覧でも可。)
(必要に応じて適宜追加)

論文((学術雑誌(総合雑誌(文藝春秋、中央公論、世界)を含む。)等掲載)
※査読付きのものは、査読欄に「1」を入れてください。
※共著論文の場合には、ご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。
※国際共著とは、異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文を意味します。

	著者	1件 標題	雑誌名 /所収図書の編者・図書名・出版者等	巻・号 /章・節	件 発行年	開始ページ	終了ページ	0 査読(有=1)	0 国際共著(yes=1)	DOI	0 オープンアクセス(yes=1)
1	田中明彦	2020年の世界と日本	国際問題	1月2月号	2020	1	-4				
2							-				
3							-				
4							-				
5							-				

図書:
※共著の場合にはご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。
※書籍の一部分のみを執筆した場合には論文の区分に含めてください。

	著者・編者	1件 図書名	出版社	発行年月	総ページ数
1	田中明彦	ポストモダンの「近代」-米中「新冷戦」を読み解く	中央公論新社	2020年1月	286
2					
3					
4					
5					

口頭報告・学会発表等:
※査読付きの学会論文集は「論文の区分」で報告し、査読なしの学会論文集は「学会発表の区分」で報告してください。
※招待講演については、学会等名の後に(招待講演)と明記してください。

	報告者等	2件 論題	学会・研究会名等	報告年月日	開催場所
1	田中明彦	ヴォーゲル先生とアジアの未来を語ろう	ヴォーゲル先生とアジアの未来を語ろう	20191116	九州大学
2	Akihiko TANAKA	International Politics in East Asia and Japan	International Politics in East Asia and Japan	20200210	ナザルバエフ大学
3					
4					
5					